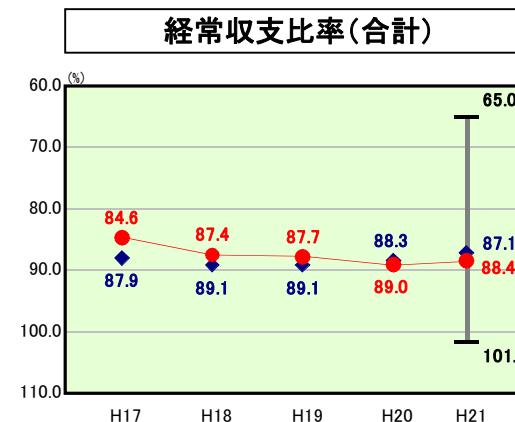


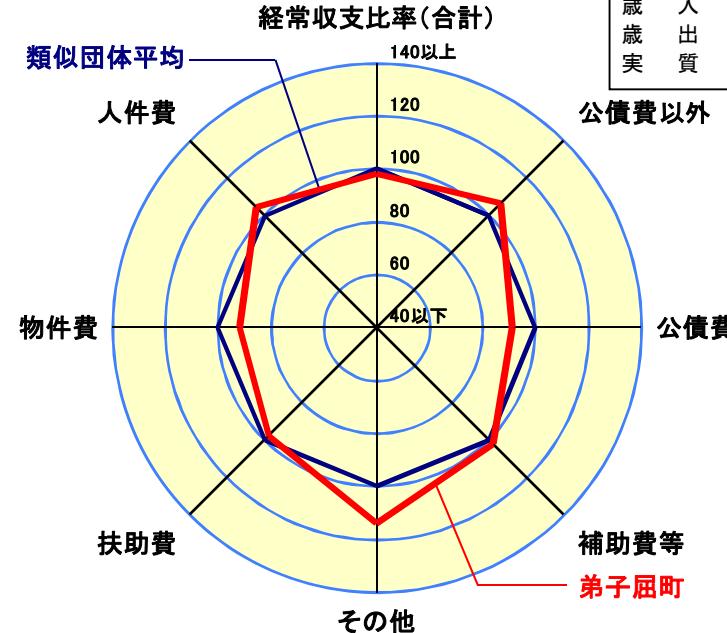
歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

北海道 弟子屈町

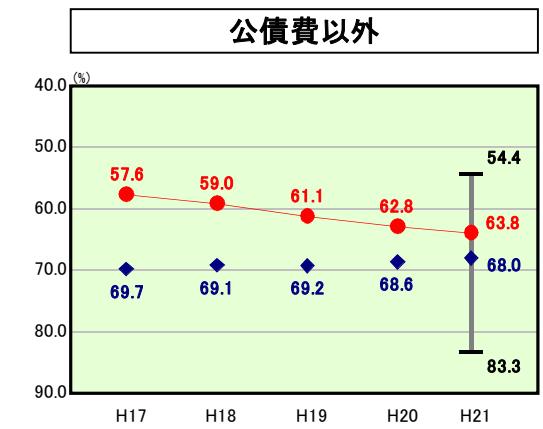
経常収支比率の分析



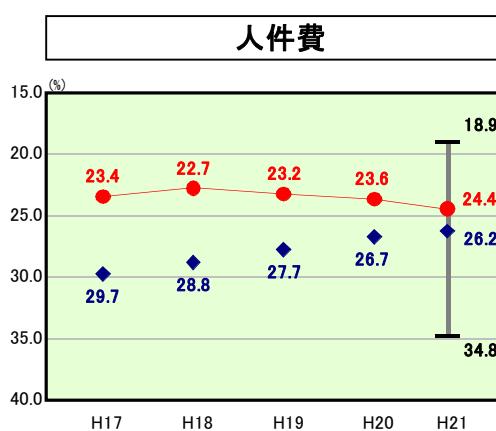
- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- 類似団体内的最大値及び最小値



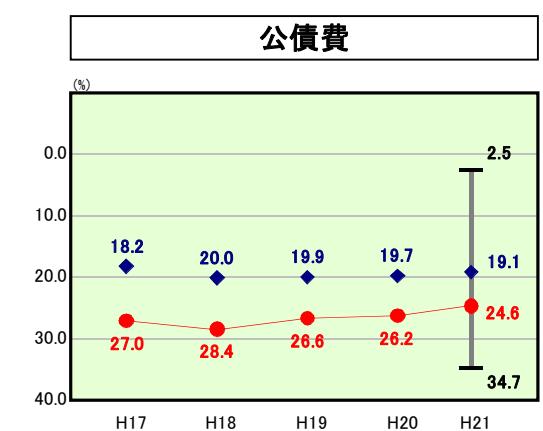
人 口 積 標 準 財 政 規 模	8,305人(H22.3.31現在) 774.53km ² 4,567,876千円
歳 入 総 額	7,203,521千円
歳 出 総 額	7,096,540千円
実 質 収 支	89,084千円



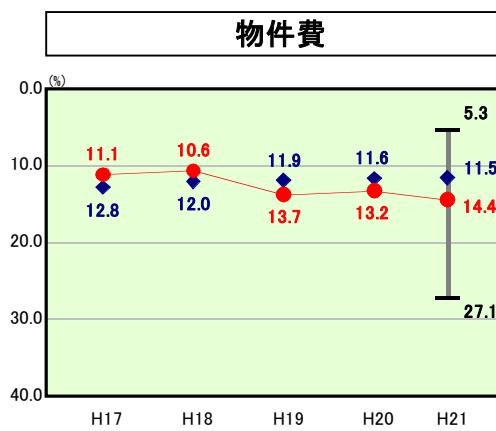
H21類似団体内順位
18/72
全国市町村平均
71.8
北海道市町村平均
68.5



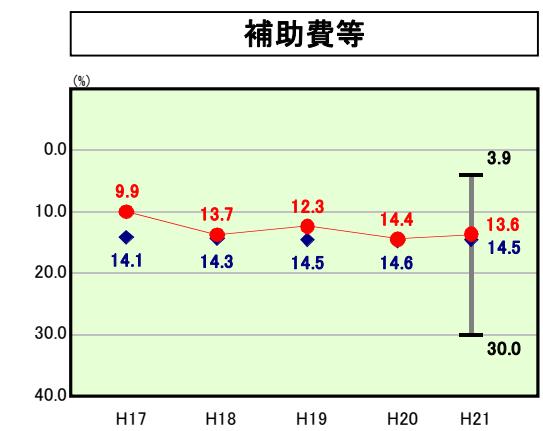
H21類似団体内順位
23/72
全国市町村平均
26.7
北海道市町村平均
24.1



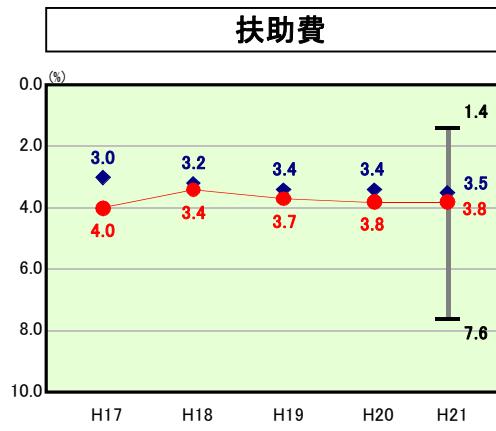
H21類似団体内順位
60/72
全国市町村平均
19.9
北海道市町村平均
22.7



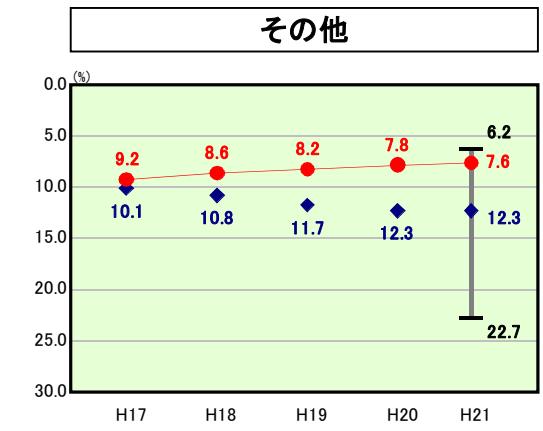
H21類似団体内順位
51/72
全国市町村平均
13.0
北海道市町村平均
11.3



H21類似団体内順位
33/72
全国市町村平均
10.5
北海道市町村平均
12.0



H21類似団体内順位
41/72
全国市町村平均
3.1
北海道市町村平均
3.1



H21類似団体内順位
5/72
全国市町村平均
12.1
北海道市町村平均
12.0

分析欄

人件費:

類似団体平均と比較すると、人件費に係る経常収支比率はかなり低くなっているが(減少傾向)、要因としては特別職給与△15%の独自削減によるものと、退職職員の不補充などによるものです。尚、弟子屈町集中改革プランなどに基づき、人件費は減少傾向にあり、平成22年度においても特別職給与△15%削減を行う予定であり、今後も事務事業の民間委託、指定管理者制度、退職者の補充を1名程度とし、引き続き人件費抑制に努める。

物件費:

類似団体平均と比較すると、物件費に係る経常収支比率は若干高くなっているが、委託業務の見直しによる民営化、指定管理者制度導入による経費削減で今後は類似団体平均程度の数値に落ち着く見込みである。具体的には、川湯相撲記念館の指定管理者委託、奥春別保育所の民営化、特別養護老人ホームの民間譲渡、ごみ処理の広域化などを既に実行済みであり、他の施設においても民間委託化を検討しているところである。

扶助費:

類似団体平均と比較すると、扶助費に係る経常収支比率は高くなっているが(上昇傾向)、要因として子ども手当の拡充、乳児養育支援手当など児童に関するものと、在宅福祉サービスや障がい者の自立支援に関するものが増加しているためである。今後は各種手当やサービス事業等の見直しを進めるが、少子高齢化社会で今後も経費の増大が見込まれる分野であるので、財政を圧迫することのないようできるだけ上昇傾向の歴止めに努める。

公債費:

類似団体平均と比較すると、公債費に係る経常収支比率は約5.5%高くなっているが、要因としては過去の病院建設や学校建設に係る起債償還等によるものである。さらに公営企業債の元利償還金など公債費に類似した経費を合わせると、公債費の負担は非常に大きいものとなっている。しかし、地方債現在高のピークは過ぎており、道の駅建設や老人ホーム改築といった大型事業が控えているものの、徐々に負担は軽減される見込みであり、引き続き類似団体平均に近づけるよう努めていく。

補助費等:

類似団体平均と比較すると、経常収支比率は若干低くなってしまっており、今後についても各種団体への補助金について評価制度導入により適正かつ明確な基準で見直しや廃止を行うことで現在の水準を保つ見込みである。

公債費以外・その他経費:

この経費については、類似団体平均・全国平均ともに下回っており、今まで通り経費の節減に努め同水準を維持していきたい。